



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2025-2026
クラブテーマ

友に学び、ともに歩み、共に成長



2026. 2. 9-16 合併号

No.2550-51 No. 22-23



会長挨拶
三条南ロータリークラブ
会長

木村 謙

皆様、こんにちは。本日もよろしくお願ひいたします。
本日の卓話は、社会保険労務士日KA オフィスサポートの藤田英樹様にお越しいただいております。

藤田さんは三条エコノミークラブ時代からのご縁があり、最近では業務拡大に伴い、パルムから月岡へ事務所を移されたと同っております。普段は数年に1回お会いする程度でしたが、先日、ロータリー例会後にさんしん本店前で偶然お会いしました。これも何かのご縁と思い、本日の卓話をお願いした次第です。

本日は「最近のトラブル相談事例」を中心にお話しいただきます。経営や労務管理に携わる私たちにとって、大変参考になる内容かと思ひます。皆様、どうぞお楽しみに。

先週土曜日に地区の財団委員会の定例のミーティングがありましたので、報告いたします。

来年度の地区クラブ活性化委員長に就任される大澤力さんから、「スリー・イヤーズ・ターゲット」についてお話がありました。地区クラブ活性化委員会は、今までは会員増強・戦略・広報委員会という名前でしたが、今年からクラブ活性化委員会と名前を変わりました。また、来年度からはパストガバナーではない方が委員長ということですので、若い方が初の委員長ということで期待されています。

「スリー・イヤーズ・ターゲット」とは、国際ローターが2024-25年度から導入した、3年スパンで長期目標を追い続ける新しい方針です。

単年度で活動を終わらせず、3年間一貫した目標を掲げ、年度ごとに対策・実行を繰り返します。進捗は「マイロータリー」で管理・共有する仕組みです。当クラブでは、昨年の南雲年度を1年目、本年度を2年目として継続しており、来年度の3年目には最終的な検証を行う予定です。

最後に、会員拡大についてお願ひがござひます。当初、誠晃舎の渡辺大輔社長を2月の新年会にお招きする予定でしたが、ご都合により見送りとなりました。引き続き、皆様の周りにお声がけできそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひ積極的なお誘ひをお願いいたします。

- ◆本日の出席：39名中25名
- ◆先週までの通算出席率：89.53%
- ◆本日のゲスト：ゲストスピーカーEKA オフィスサポート 社会保険労務士藤田英樹様
- ◆先週までのメイクアップ：2/3 三条北 RC へ佐々木常行さん、峰島由紀子さん>2/5 三条東 RC へ佐々木常行さん、坪井康紀さん
- ◆幹事報告 加藤一芳幹事
 - ▶「抜萃(ばっすい)のつづり(つづり)」を配布しました。(株)クマヒラ会長の熊平雅人氏(東京 RC 会員)より、全国の RC へ無料寄贈されているものです。「抜萃のつづり」は書籍や雑誌、新聞から心に残る文章・記事を抜粋しまとめた書物です。創業者の熊平原蔵氏(故人)が社会への感謝、報恩のために昭和6年に創刊。以来、戦時中を除いて途絶えることなく毎年1回、創業記念日の1月29日に発行し、官公庁や金融機関、地方自治体、教育機関、一般企業、商工会議所などに45万部を無料で配布しています。(残部あります。欲しい方、お持ちください)
 - ▶「三条市二十歳を祝う会」ご協賛の願ひ
クラブより毎年1万円をスマイル会計より協賛しています。個人、法人での協賛を募っております。

ニコニコボックス

2/9 12,000円 今年度累計 385,000円

木村会長「本日も雪の中、ご参加いただきありがとうございます。また本日は藤田英樹様卓話よりお願ひ致します」

加藤幹事「藤田英樹様、本日の卓話をよりお願ひいたします」

吉沢さん「日KA オフィスサポート、社会保険労務士、藤田英樹様、卓話をよりお願ひいたします」

坂井さん、関さん「藤田さんの卓話を楽しみにしております」

荒澤さん「選挙終了しました。ありがとうございました」

長谷川さん「雪も今日まででしょうか。なごり雪になれば良いのですが・・・」

銅冶さん、熊倉さん、藤田さん、桑原さん
「BOXに協力します」

田代さん「BOXにご協力ありがとうございました」

よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ(イタリア)
第2560地区ガバナー 室賀 信宏(白根)
第4分区分ガバナー補佐 青柳 修次(燕)
会長 木村 謙
幹事 加藤 一芳
SAA 関 博市

事務局
〒955-8666 三条市町田2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL0256-35-3477
FAX0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

職場の“困った”にどう対応するか ～最近のトラブル相談事例から～



EKAオフィスサポート
社会保険労務士
藤田 英樹 様

- (1) 従業員の不注意による設備損壊、事故への損害負担の可否
 - 実損害額であれば可能
 - 一律で負担額や割合を定めるのは認められない可能性が高い
 - (本人の了解なく) 給与からの天引きは認められない
 - 報償責任の法理
- (2) 仕事ができない(ローパーフォーマー)従業員への対応
 - 本人は気付いていないケースが多い
 - いきなり処分はできない

- 入社時の雇用契約
- 就業規則の記載
- 解雇する場合の注意点

- (3) 注意をすると「それパワハラでは？」と言われて指導できない
 - パワハラの定義をしっかり理解する
 - 人格否定はいかなる場面でも×
 - 身体的苦痛を与えても該当しない例もある
- (4) メンタル不調で休職中の従業員が医師の就労可能証明を持って入社してきたが、復職が妥当か判断に迷うケース
 - 怪我と違い判断が難しい
 - 就業規則に規定されているか
- (5) 障害者であることを隠して入社した。経歴詐称で解雇できるか
 - 経歴詐称が認められるケース

2026. 2. 16

新年会 於:松木屋

No.2551 No. 23



会長挨拶
三条南ロータリークラブ
会長

木村 譲

皆様、こんにちは。本日もよろしくお願いいたします。
「8クラブ親睦ゴルフコンペ」の打ち合わせがありました。以前も言いましたが今年は幹事クラブとなります。

以前からライオンズの2つが不参加で名称変更の案がでておりましたが、戻ってくるかもということで、名称はそのままですが、下田ライオンズ様がなくなることとなり、「7クラブ」として開催しようということになりました。実行委員長を永桶さん、実行副委員長を吉沢さん、そして委員として峰嶋さん、藤田さん、中村さんという体制で臨みますが、皆様ご協力お願いします。開催は6月6日になります。

当クラブが幹事を受け持つのは実に15年ぶりで、当時の資料を紐解くと実行委員長は丸田さんでした。久しぶりの大役となりますので、ぜひ多くの会員の皆様からご参加いただき、クラブ一丸となって盛り上げていければと思います。6月6日土曜日よろしくお願いいたします。

来週2月23日から3月1日は、国際ロータリーが決議した「世界理解と平和週間」です。1905年の2月23日は、創始者ポール・ハリスが友人3人と初めて会合を持った、ロータリー創立の日でもあります。

この1905年という年は、日本にとっても歴史の大きな転換点でした。

ちょうど121年前の今頃、2月21日には満州で「奉天会戦」が始まっていました。日露両軍合わせて約60万人が激突した、世界史に残る未曾有の大決戦です。

- 入社時の雇用契約
- 就業規則の記載
- 解雇する場合の注意点

その後、5月には東郷平八郎率いる連合艦隊が日本海海戦でバルチック艦隊に圧勝を収め、勝利への道筋が模索されることとなります。

このような激動の時代に、シカゴの一角で平和と職業倫理を掲げるロータリーが産声を上げたことに、不思議な縁を感じずにはられません。

本日も実りある例会となりますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆本日の出席：39名中26名
◆先週までの通算出席率：88.84%

ニコニコボックス

2/16 25,000円 今年度累計 410,000円

木村会長「本日は新年会ご参加いただきありがとうございます。春が近づいてきた気がします」

加藤幹事「BOXに協力します」

桑原さん「新年会よろしくお願いいたします」

野崎さん「親睦委員会の皆さんありがとうございます」

熊倉さん「新年おめでとうございます」

関さん「明けましておめでとうございます」

渡辺(和)さん「ここ二日ほど暖かくなりましたが、やっぱり少し寒い新年会となりました。楽しみましょう！」

江花さん「今日も宜しくお願いします」

坂井さん、大溪さん、田代さん、銅冶さん、永桶さん、吉沢さん、田村さん、桑原さん、坪井さん、木村(雅)、荒澤さん、藤田さん、峰嶋さん、石山さん、田中さん、平松さん、布施さん

「BOXに協力します」

中村さん「BOXにご協力ありがとうございました」

ロータリー財団 寄付について

PHF (ポール・ハリス・フェロー) とは

ロータリー財団に対して、年次基金/ポリオプラス/承認された財団補助金への累計寄付額が1,000ドルに達した際に贈られる認証です。

初回以降も1,000ドル毎に+1と認証され、「マルチプルPHF」とされます。

当クラブでは会費と同時にお願いしている特別寄付(前後期各5,000円)と財団BOX協力金から、年次基金に100\$, ポリオプラスに30\$, 合計130\$ずつを寄付しています。

当クラブの現会員39名のうち、PHFは11名、+1~+4のマルチプルは15名です。

寄付は、いつでも任意に送金することができます。

クラブ事務局に依頼しての送金以外にも、My Rotaryに登録していればご自身で手続き可能です(クレジットカード利用)

● PHS (ポール・ハリス・ソサエティ) とは、年次基金/ポリオプラス/承認された財団補助金に毎年1,000ドル以上を、ご寄付くださることを約束した個人のための認証です。⇒入会の手続きが必要です。

● PPS (ポリオプラス・ソサエティ) とは、地区単位で、ポリオ根絶まで毎年100ドルをポリオプラスにご支援くださるロータリー会員の参加・登録を進めていただくものです。

● PHS と PPS 両方のメンバーの方は、年度中ポリオプラスへ100ドル、年次基金へ900ドルで約束された寄付の達成になります。

● PHS または PPS のためのご寄付は、PHF (またはマルチプル・ポール・ハリス・フェロー) 及びメジヤードナーの認証にも反映されます。

3月のお祝い



◆ **会員誕生** 田村隆雄さん
榎本剛彦さん
広岡頼子さん

◆ **配偶者誕生** 関博市さんご夫人
中村靖さんご夫人
田代徳太郎さんご夫人
田中康之さんご夫人
平松修之さんご夫人

◆ **結婚記念** 中村靖さんご夫妻
木村譲さんご夫妻

おめでとうございます

ロータリーの目的

ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること